

女性の活躍応援団支援事業【神奈川県】

地域の実情と課題

神奈川県女性の就業率は、M字カーブの底の値と落差がともに全国ワースト1であるとともに、35歳から39歳の女性無業者の就労希望の割合は66.0%となっており、男女共同参画社会実現、少子高齢化社会対応のため、働き方改革等により、生涯にわたって働き続けられ、かつ、個性・能力に応じたキャリアアップの図れる職場環境づくりが急務である。

事業の特徴

- 社会的影響力のある「かながわ女性の活躍応援団」のメンバー企業等や経済団体等との協働により、女性活躍推進の社会的ムーブメント拡大に向けた以下の事業を実施
 - ①ムーブメント拡大ミーティング
 - ②女性の活躍応援団を活用した啓発講座の拡充
 - ③応援サポーター限定ステップアップセミナー・交流会(※)
 - ④取組紹介冊子・ホームページの作成
- ※応援サポーター：啓発講座受講等をきっかけに「よし、やろう！」と女性活躍推進を思い立った企業が参加

事業の効果

冊子の配布や啓発講座(17回実施、参加者2,119人)を通じて中小企業のトップ等に意識変革をもたらしたことにより、女性活躍推進の社会的ムーブメントの拡大につながった。また、今年度初めて実施した応援サポーターを対象としたステップアップセミナー・交流会では、サポーター同士の活発な意見交換が行われ、相互刺激となるなど、サポーター登録を増やす上でのインセンティブとなることが確認できた。

目的・目標

- 女性活躍推進がスピード感をもって拡大していくためには、トップの意識改革とリーダーシップが極めて効果的。また、意識改革とともに、より効果的な具体的対応策が広く採用されていくことも重要
- 「かながわ女性の活躍応援団」では、企業経営者等トップの意識改革に直接働きかける事業、効果的な具体的取組事例等を企業関係者に紹介する事業を進め、女性活躍推進の社会的ムーブメントの拡大を図る。
目標：啓発講座実施回数 全体15回(うち経済団体主催 6回)

連携団体

- かながわ女性の活躍応援団
構成メンバー：アイネット、アサヒビール、アツギ、麒麟ビール、京浜急行電鉄、JFEスチール、資生堂、第一生命保険、高島屋、ツクイ、飛鳥建設、日揮、日産自動車、日本発条、ファンケル、富士通、富士フィルムホールディングス、富士屋ホテル、横浜銀行、横浜国立大学の企業等トップ及び神奈川県知事
- 市町村
- 経済団体

今後の課題

平成27年度から年1回全団員が集まる全体会議を開催しているが、そうそうたる企業のトップが一堂に会するのは難しく、今後の実施方法等検討を要する。また、平成28年度からスタートした「応援サポーター」には、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定を義務付けているため、中小企業等が参加するにはハードルが高いのか、今一つ参加が伸びていない。今後、さらに女性活躍推進のメリットをアピールし、応援サポーターの数を増やす＝一般事業主行動計画の策定数を増やし、中小企業での女性活躍推進の社会的ムーブメント拡大を図る必要がある。

事業の概要

ムーブメント拡大ミーティングの開催

かながわ女性の活躍応援団ムーブメント拡大ミーティング

日時:平成30年11月21日(水)

17:00~18:00

場所:ロイヤルホール横浜2階
シャンボール(横浜市中区)

出席者:知事及び応援団員計12人
アドバイザー

(オブザーバー:応援サポーター
12人)
一般参加13人

内容:女性活躍を応援する行動宣言バージョンアップ版の発表
アドバイザーによる講評 等



女性の活躍応援団を活用した 啓発講座の拡充

・実施回数全体17回(うち経済団体主催6回) ・参加者2,119人

応援サポーター限定ステップアップ セミナー・交流会の開催

応援サポーター限定ステップアップセミナー・交流会

日時:平成31年2月28日(木) 15:00~18:00

場所:ロイヤルホール横浜3階 セレナーデ(横浜市中区)

出席者:41人

内容:

- ・アドバイザーメッセージ
- ・セミナー
「ダイバーシティ・マネジメントの壁となるアンコンシャス・バイアスを知る」



取組紹介冊子・ホームページの作成

- 取組紹介冊子
 - ・作成時期:平成31年1月
 - ・規格:A4判24頁4色刷り
 - ・作成部数:9,500部
- woman act.ホームページ
 - ・かながわ女性の活躍応援団団員、
応援サポーターの紹介
 - ・行動宣言
 - ・イベント
 - ・女性活躍のヒント

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0050/womanact/>

